

【報告】第11回弊社主催オンラインセミナー
『“手と目と対話（ビスポーク）”の経験知から様々な義足を開発してきた職人が
最先端の3D技術を取り入れてさらなる飛躍を試みているお話』



臼井 二美男 氏



センター外観（荒川区南千住）

肢切断者
3000
名もの下
因で臼井氏の卒業時には大腿義足を装着
されていたその先生の思
い出がふと頭をよぎった
ことが原体験となり、義
肢装具士の道へ。その先

（※2面へ続く）

臼井氏の入所当初は全国に12箇所あった
系列センターも、やがて時代
と共に民から官へとその主流
が移り、現在は2008年に
東京都新宿区から同荒川区へ
移転した同センター1箇所に。
医師・義肢装具士・理学療
法士・看護師等々、総勢50
名以上のスタッフが勤務し、

同センターの沿革と概要

3月14日（日）、第11回弊社主催オン
ラインセミナーを開催、ゲストスピー
カーに公益財団法人 鉄道弘済会 義肢装
具サポートセンター（以下、同センター）
研究室長で義肢装具士の臼井二美男氏を
お迎えしてお話を伺いました。



令和3年4月
【O11号】

DreamGP
Dream Growing Platform
株式会社ドリーム・ジーピー

【大阪本社】
〒556-0004
大阪市浪速区日本橋西1丁目3-19 南海日本橋ビル1F
TEL:06-4708-4877 / FAX:06-4708-4789

弊社主催オンラインセミナー動画
ホームページへのアップロード情報



下記セミナーのアーカイブ動画がアップされました！
第10回（2021/2/13）永井 恵子 様
第11回（2021/3/14）臼井 二美男 様
ギシナビ
<https://www.gishinavi.com/>

が利用されているそうです。
付属の診療所では数名のドクターが交
代で診療にあたり、併設する入所施設で
は、義肢装具装着後のリハビリに特化し
た指導が受けられるということ、わざ
わざ他院から転院して来られる患者さん
も少なくないとのこと。その他、「展示
ルーム」も併設され、随時見学を受け付
けておられます。
また、一般的な施設では糖尿病を切断
原因とする入所割合が6割に及ぶのに比
して、同センターでは悪性腫瘍や外傷を
原因とする患者さんが7割弱を占め、30
箇所以上もの病院からの紹介患者を受け
入れているそうです。
義肢装具士を志した原体験
小学六年、夏の記憶
きっかけは小学六年の担任の女性教諭
の記憶でした。地元の大学を卒業後新卒
で担任となるも、左足に出来た腫瘍が原
因で臼井氏の卒業時には大腿義足を装着

第12回 Zoom 利用による無料オンラインセミナー

2021年4月17日（土）
14:00～16:00

義肢装具士の皆様へ

「弊社機器導入企業様による“忌憚なき”座談会（パート2）」

【演題】

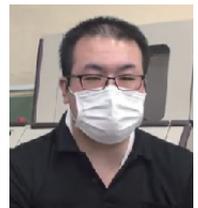
1. 14:00～15:00
『弊社機器導入企業様による“忌憚なき”座談会（パート2）』
ご登壇者：成瀬 正高 氏（有限会社 稲垣義肢、愛知県）
ご登壇者：上田 真路 氏（ピーオーブレイス 株式会社、北海道）

~~~~~休憩（15:00～15:10）~~~~~

2. 15:10～15:50  
『【ご紹介】プロ体幹トレーナー 木場氏&弊社渡辺との対談動画を基に』  
講師：成毛 喜男（弊社執行役員）& 渡辺 伸二（弊社執行役員）
3. 15:50～16:00  
『各種補助金について』  
講師：中村 美穂（弊社執行役員）



成瀬 正高 氏



上田 真路 氏



木場 克己 氏（左）と弊社渡辺（右）

【お申込み・お問合せ】 ※お申込み期限：4月16日（金）

**主催** (株)ドリーム・ジーピー  
TEL: 06-4708-4877 / FAX: 06-4708-4879  
E-mail: info@dreamgp.jp

・氏名（ふりがな）、貴社名、所属名・役職、電話番号、メールアドレス）  
をご用意の上、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。  
セミナー当日、お伺いしたメールアドレスへ専用URLを送信致しますので、  
そちらをクリックしてご参加下さい。





是非ホームページのスクロールを！

義肢装具士の地域情報プラットフォーム「ギシナビ」ホームページより

義肢装具士の地域情報プラットフォーム「ギシナビ」ホームページ「ギシナビTV」のコーナーでは、弊社開発製品の紹介やその活用事例プロモーション動画等、更なる充実を目指し随時更新中。お見逃しなく！



「スタートラインTOKYO」練習風景

兼備した開発にも挑戦されています。

その家族等の計約250名が所属し継続的に活動され、その他、両下腿切断者の走行サポート、3Dプリンターや設計ソフトの導入、国立大学との産学協同によるデザイン性と実用性を

生は現在もお元気で、今も年に数回、装具の調整で再会されているとのこと。

「手と目と対話」で育んだ活動とデジタルを取り入れた更なる挑戦

大腿義足で歩くことなどほぼ考えられなかった約30年前のアンケート結果を契機に交互足歩行を思い立ち、その後立ち上げたランニングクラブ「スタートラインTOKYO」には現在、義足ユーザーやその家族等の計約250名が所属し継続的に活動され、その他、両下腿切断者の走行サポート、3Dプリンターや設計ソフトの導入、国立大学との産学協同によるデザイン性と実用性を

SNS開始につきフォロワー大募集!

facebook

ギシナビ  
prosthetist and orthotist navigation

https://www.facebook.com/gishinavi

義肢装具士の地域情報プラットフォーム「ギシナビ」は、全国の義肢装具士の優れた技術を医療機関～地域の方々へ、社会全体の「健康」と「幸せ」のために情報発信しています。

https://www.instagram.com/gishinavi/

【第11回弊社主催オンラインセミナー】参加者様のご感想 (※一部抜粋、原文ママ)

●「性格的に短気だったり依存心が強い患者さんもある。障害を持つことでダメージを受けた部分。だからこそ根気よく頑張れる」という日井さんのお話が心に残っています。私は第二の人生として現在学校で学んでいます。益々やりがいのある仕事であると感じました。(K様)

●デジタルシフトについてもう少しお話を聞きたかったです。本日からライノセラスの勉強を始めました。切削機を導入した後にインソール以外にも応用して使える様に、準備しておきます。(N様)

●はじめての参加でしたが、1回目から参加出来てたらなあと思うほど勉強になりました。良い情報など習得ができました。ありがとうございました。(M様)

各種『補助金』情報 随時更新!

◎小規模事業者持続化補助金<コロナ特別対応型>  
第5回受付締切分(3月31日発表)、弊社申請2社採択されました!  
《採択事例の詳細》

①採択内容: 足圧計測システム  
②採択企業: 靴小売店舗様、義肢装具会社様  
③補助事業の事業名称:  
・計測精度の向上と接触時間の低減化に向けた footscan の導入  
・インソール採型工程の非接触対応と装具による改善効果の見える化

◎令和2年度第3次補正予算  
小規模事業者持続化補助金<低感染リスク型ビジネス枠>  
小規模事業者が経営計画及び補助事業計画を作成して取り組む、感染拡大防止のための対人接触機会の減少と事業継続を両立させるポストコロナを踏まえた新たなビジネスやサービス、生産プロセスの導入等に関する取り組みを支援するものです。  
※補助上限: 100万円、※補助率: 4分の3  
《各回締切の年間スケジュール》

|     |            |           |
|-----|------------|-----------|
| 第1回 | 2021(令和3)年 | 5月12日(水)  |
| 第2回 | 2021(令和3)年 | 7月7日(水)   |
| 第3回 | 2021(令和3)年 | 9月8日(水)   |
| 第4回 | 2021(令和3)年 | 11月10日(水) |
| 第5回 | 2022(令和4)年 | 1月12日(水)  |
| 第6回 | 2022(令和4)年 | 3月9日(水)   |

出典: <低感染リスク型ビジネス枠>補助金事務局  
http://www.low-risk-jizokuka.jp/

お申込みはこちら!!!

個別

●弊社個別相談&商談会、随時開催中→  
お申込みフォームURL = https://airrsv.net/mfs-reserve/calendar

【紹介】  
日々の研究、ほんのひとコマ  
“JAMBO プロジェクト”  
アフリカにおける  
義肢装具提供への取り組み

アドゥアヨム・アヘゴ・アクエテビ (弊社研究員)

「JAMBO プロジェクト」は、身体障害者の支援を目的としたプロジェクトです。このプロジェクトは、学生のサークル活動や義肢装具業界を通じて、日本全国で支援技術機器のリサイクルを行うものです。補助器具とは、義肢装具、車いす等のことです。これらの活動により、アフリカの身体障害者のための義肢を製造することができます。使用済みの義肢装具をリサイクルすることで、サハラ以南のアフリカの身体障害者が購入できるようになります。

新しい義肢装具は、彼らが社会に復帰し、仕事を得ることで経済的に自立するのに役立ちます。私たちは、このリサイクルプロジェクトを通じて、アフリカ54カ国の義足を購入できない切断者1人に、少なくとも1本の義足を無償で提供することを目標としています。

デジタル時代の到来により、リハビリテーションの分野も進歩しており、私たちはアフリカの切断者のための3Dプリント義足モデルを開発しています。このモデルでは、プラスチック素材をアフリカの地域でリサイクルし、手頃な価格の義足を提供します。

私たちはプラスチックのゴミを大規模に回収することで環境に配慮し、この新しい技術をアフリカのすべての国で展開するために、国際機関や非政府組織と協力し、遠隔地にサテライトセンターを設立して、身体に障害のある地域住民にサービスを提供していきます。

シャムボプロジェクト  
JAMBO Project  
Japan-Africa Medical Bridge Organization Project